

令和元年度 横浜市民意識調査の報告書がまとまりました

横浜市では、市民の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、市民の生活意識や生活構造を明らかにし、それを市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、昭和47年度から毎年、横浜市民意識調査を実施しています。

令和元年度は、市政満足度、市政への要望、心配ごとや困っていることなどのほか、暮らしやすさや日々の食事、隣近所・地域とのつき合いを特集項目とし、外国人を含む18歳以上の市内居住者3,200人を対象に調査しました。結果の速報として、単純集計結果を昨年8月28日に公表しましたが、今回、年齢別や居住区別などのクロス集計結果を含めて報告書としてまとめました。

報告書から

便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい

◎ 暮らしやすさ から

住まいに関する価値観 [報告書 P60~]

「便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい」という意見について尋ねた結果をみると、そのように思うと回答した人の割合が男性は30代、女性は30・40代で最も高く、他の年代と比べて郊外で住むことを肯定的に捉えている人が多い傾向がみられました。また、全ての年代で男性よりも女性のほうが郊外より都心に住みたいと考える人が多く、男女ともにおおむね30代以降は年代が上がるほど、都心を志向する人の割合が高くなる傾向があると考えられます。

思う(計) … 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計

思わない(計) … 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計

性別・年代	n	思う			思わない			無回答	思う(計)	思わない(計)
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない				
全体 (2,052)		6.9	15.8	37.8	19.0	18.7	1.8	22.7	37.7	
男性 (計) (923)		9.4	19.0	38.6	16.3	15.4	1.4	28.4	31.6	
18~29歳 (106)		9.4	17.0	36.8	16.0	20.8	-	26.4	36.8	
30代 (105)		7.6	29.5	37.1	15.2	10.5	-	37.1	25.7	
40代 (174)		9.2	16.7	40.2	19.0	14.4	0.6	25.9	33.3	
50代 (169)		7.1	23.1	40.8	16.0	11.8	1.2	30.2	27.8	
60代 (146)		13.0	16.4	37.7	15.8	15.1	2.1	29.5	30.8	
70歳以上 (223)		9.9	15.2	37.7	15.2	18.8	3.1	25.1	34.1	
女性 (計) (1,129)		4.9	13.2	37.2	21.3	21.3	2.1	18.1	42.6	
18~29歳 (124)		3.2	14.5	37.9	29.8	13.7	0.8	17.7	43.5	
30代 (123)		3.3	17.9	46.3	20.3	11.4	0.8	21.1	31.7	
40代 (213)		3.3	17.8	36.6	22.1	18.8	1.4	21.1	40.8	
50代 (180)		3.9	11.7	38.9	23.9	20.6	1.1	15.6	44.4	
60代 (181)		7.7	16.1	35.4	19.9	30.4	0.6	13.8	50.3	
70歳以上 (308)		6.2	12.7	33.8	16.9	25.3	5.2	18.8	42.2	

報告書は、下記ホームページ(※1)に掲載するほか、市庁舎1階横浜市市民情報センターで3月27日(金)より販売(一部300円)します。また、調査結果を自由に活用いただけるよう、ローデータをオープンデータ化し、4月1日(水)に横浜市オープンデータポータルサイト(※2)へ掲載します。

※1 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shien/shiminisiki/ishiki2019.html>

※2 <https://data.city.yokohama.lg.jp/>

■調査の概要■

調査地域: 横浜市全域

調査対象: 市内に居住する18歳以上の方3,200人(外国人含む)

抽出方法: 住民基本台帳から日本人は層化二段無作為抽出、外国人は無作為抽出

調査方法: 郵送留置・訪問回収法(調査票を郵送、後日調査員による個別訪問回収)

調査時期: 令和元年5月17日調査票発送、5月24日~6月10日調査票回収

回収結果: 2,052標本(回収率64.1%)

調査結果の内容から（参考）

■ 区別集計結果から

- ・現住地定住意向 [報告書 P43~]

「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせた『住み続ける（計）』が多い区

①	泉区 (74.4%)	②	西区 (71.1%)	③	磯子区 (70.7%)	④	保土ヶ谷区 (69.6%)	⑤	南区 (69.0%)
---	---------------	---	---------------	---	----------------	---	------------------	---	---------------

- ・周辺環境の総合評価 [報告書 P48~]

「暮らしやすい」と「どちらかという暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい（計）』が多い区

①	西区 (91.1%)	②	青葉区 (88.7%)	③	都筑区 (88.0%)	④	南区 (85.0%)	⑤	港北区 (84.0%)
---	---------------	---	----------------	---	----------------	---	---------------	---	----------------

- ・市政全体への満足度 [報告書 P33~]

「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」を合わせた『満足（計）』が多い区

①	港南区 (55.9%)	②	都筑区 (47.9%)	③	西区 (46.7%)	④	泉区 (45.6%)	⑤	保土ヶ谷区 (44.1%)
---	----------------	---	----------------	---	---------------	---	---------------	---	------------------

■ ブロック別集計結果から

- ・市政への要望 [報告書 P26~] ※上位3項目（複数回答）

東部	地震などの災害対策 28.4%	防犯対策 27.4%	高齢者や障害者が移動しやすい 街づくり 27.0%
西部	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／病院や救急医療など地域医療（同率1位） 31.0%		防犯対策 27.7%
南部	地震などの災害対策 34.9%	高齢者福祉 32.1%	病院や救急医療など地域医療 30.6%
北部	地震などの災害対策 34.9%	防犯対策 30.3%	高齢者や障害者が移動しやすい 街づくり 29.7%

東部：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区

西部：保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区

南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区

北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区

■ 年齢別集計結果から

- ・心配ごとや困っていること [報告書 P85~] ※上位3項目（3つまでの複数回答）

18~29歳	家族の病気や健康、生活上の問題 27.8%	仕事や職場のこと 27.4%	自分の病気や健康、老後のこと 26.1%
30代	子どもの保育や教育のこと 34.2%	家族の病気や健康、生活上の問題 32.9%	自分の病気や健康、老後のこと 25.9%
40代	自分の病気や健康、老後のこと 40.6%	家族の病気や健康、生活上の問題 38.8%	子どもの保育や教育のこと 26.4%
50代	自分の病気や健康、老後のこと 53.0%	家族の病気や健康、生活上の問題 40.7%	景気や生活費のこと 18.9%
60代	自分の病気や健康、老後のこと 62.7%	家族の病気や健康、生活上の問題 37.9%	景気や生活費のこと 27.2%
70歳以上	自分の病気や健康、老後のこと 68.5%	家族の病気や健康、生活上の問題 37.3%	景気や生活費のこと 22.0%

■ 性別・年齢別集計結果から

- ・食事の内容（朝食） [報告書 P93~] ※主な3項目の結果

	主に自分又は家族が調理したものを食べる	主に買った弁当、パン、惣菜などを食べる	食べない
男性（計）	59.2%	22.5%	11.5%
18~29歳	49.1%	23.6%	22.6%
30代	53.3%	23.8%	15.2%
40代	51.7%	20.7%	17.8%
50代	46.7%	32.0%	12.4%
60代	65.1%	22.6%	5.5%
70歳以上	78.0%	15.7%	2.7%
女性（計）	72.6%	15.9%	8.2%
18~29歳	54.0%	22.6%	17.7%
30代	62.6%	22.8%	11.4%
40代	65.7%	19.2%	14.1%
50代	77.2%	14.4%	6.1%
60代	79.6%	14.4%	3.3%
70歳以上	82.1%	9.7%	3.2%

お問合せ先

政策局政策課データ活用推進等担当課長 宮崎 郁 Tel 045-671-4087